

**2020(令和2)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）**  
**法律学科・地域環境政策学科・産業情報学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理)**  
**【選択科目：倫 理】**

**注 意 事 項**

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

## 2020(令和2)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

### 法律学科・地域環境政策学科・産業情報学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理) 【倫理】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

**A** 世紀オランダの哲学者スピノザは、その主著 a 『エチカ』において、神を無限で唯一の **B** とし、b 自然を神そのものの現れとみなした。

まずスピノザは、c 思惟と延長とは神の二つの **C** であり、これらには対応関係が存在すると主張した。つまり心身 **D** 論の立場をとった訳である。またスピノザは、世界のあらゆる事柄は神の必然において生ずるとも主張した。曰く、われわれが通常、偶然と考えるものとは実は、人間の認識の不十分さに起因するものである。ゆえに万物を神の位置づく **E** の相のもとで見なおすとき、自然の必然的法則が理解されるという。

このスピノザの主張は、ユダヤ・キリスト教的な **F** 神とは異なるものと捉えられ、無神論として批判された。ゆえに彼はその生涯を孤独な哲学者として終えた。

問1 上の文章の **A** に当てはまる数字として最も適切なものを次の(ア)～(オ)の中から一つ  
選び記号で答えなさい。(2点)

- (ア) 15
- (イ) 16
- (ウ) 17
- (エ) 18
- (オ) 19

問2 上の文章の **B** ～ **E** に最も当てはまる語句をいずれも漢字二文字で記入しな  
さい。(各3点)

問3 上の文章の **F** に当てはまる語句として最も適切なものを次の(ア)～(オ)の中から一つ  
選び記号で答えなさい。(2点)

- (ア) 現人
- (イ) 人格
- (ウ) 守護
- (エ) 自然
- (オ) 太陽

**問4** 下線部 a 『エチカ』 以外のスピノザの著作として最も適切なものを次の(ア)～(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。(2点)

- (ア) 『情念論』
- (イ) 『モナド論』
- (ウ) 『人間本性論』
- (エ) 『知性改善論』
- (オ) 『ノヴム＝オルガヌム』

**問5** 下線部 b の考えは何と呼ばれるか。漢字四文字で答えなさい。(3点)

**問6** スピノザとおよそ同時代を生きたフランスの思想家デカルトは、下線部 c で言われる思惟と延長をめぐる問題をどのように理論化したか。60 字以内で説明しなさい。(6点)

## Ⅱ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

18世紀後半から19世紀にかけてイギリスで発展した（ ① ）主義によれば、行為の善悪は行為が幸福をもたらすかどうかによって判断される。つまり、幸福を増大させる行為が善であり、幸福を減少させる行為が悪であるということになる。

このように幸福に第一の価値をおく（ ① ）主義では、個人の幸福と社会全体の幸福の関係が問われる。（ ② ）は、誰しも快楽を求め（ ③ ）を避けるという人間観察から、幸福とは快楽のことであり、不幸は（ ③ ）のことであるとした上で、i) 個々人の幸福の総和としての社会全体の幸福を最大化しなければならないと主張した。この主張は、快楽と（ ③ ）は量的に（ ④ ）可能なものであるという考えに基づいている。

これに対してJ. S. ミルは、（ ② ）の（ ① ）主義を受け継ぎつつも、快楽としての幸福については質を重視し、ii) 身体的快楽よりも精神的快楽のほうが質の高い真の幸福であると主張した。またミルの（ ① ）主義の形成には、彼が20歳の頃に体験した精神的危機が大きく関わっている。それまで彼は自分の幸福だけを追求していたが、この体験以後、個人の幸福は、iii) 人類や社会の幸福のために活動するときに感じられる喜びであると考えられるようになる。こうした考えから彼は、（ ① ）主義の理想を、「己の欲するところを人に施し、己のごとく隣人を愛しなさい」という（ ⑤ ）の黄金律のうちに見た。

**問1** 上の文章の（ ① ）～（ ⑤ ）に入る最も適切な語句あるいは人名をそれぞれ答えなさい。（各2点）

**問2** 下線部 i) のような考えは何と呼ばれるか。（3点）

**問3** 以下の(a)～(e)の中から、下線部 ii) と最も関係の深いものを一つ選び、記号で答えなさい。（1点）

- (a) 各人は一人として数えられ、誰もそれ以上に数えられてはならない。
- (b) これが人生か、さらばもう一度。
- (c) 満足した豚よりも不満足な人間のほうがよく、満足した愚か者よりも不満足なソクラテスのほうがよい。
- (d) 善意志は、みずからの中に全価値をもつものとして、一つの宝石のように、それだけで光り輝く。
- (e) 幸福を直接の目的としない場合にかぎって、その目的は達成される。

**問4** ミルは個人の幸福を下線部 iii) のように説明することによって、どのようなものとして幸福を捉えようとしたのか。漢字三文字で答えよ。（3点）

問5 以下の(a)～(e)の中からミルの著作を一つ選び、記号で答えなさい。(1点)

- (a) 『道徳感情論』
- (b) 『人間的自由の本質』
- (c) 『道徳および立法の諸原理序説』
- (d) 『正義論』
- (e) 『自由論』

Ⅲ. 次の各人名と最も関係のあるものを、A群・B群・C群からそれぞれ一つずつ選んで記号で答えなさい。(各1点)

(1) デューイ

(2) メルロ＝ポンティ

(3) ベルクソン

A群 (ア) 生きられた身体  
(エ) 無知のヴェール

(イ) 生命への畏敬  
(オ) 創造的知性

(ウ) 開かれた魂

B群 (ア) 構造主義  
(エ) 生の哲学

(イ) プラグマティズム  
(オ) 現象学

(ウ) フランクフルト学派

C群 (ア) 『存在と時間』  
(エ) 『創造的進化』

(イ) 『目と精神』  
(オ) 『精神現象学』

(ウ) 『哲学の改造』

Ⅳ. 次の各文章を読み、後の問いに答えなさい。

- (A) 法然は、(ア)鎌倉新仏教の一つとされる浄土宗の開祖である。法然の代表的著作として、『( ① )』を挙げることができる。法然や浄土宗の教えとして、( ② )念仏というものがある。この教えは、他の修行方法を一切捨てて、もっぱら念仏を唱えることにより極楽浄土に往生できるとするものである。
- (B) 親鸞は、絶対 ( ③ ) の教えを特徴とする浄土真宗を開いた人物である。親鸞の根本思想は、(イ)悪人正機と言われるものである。このような親鸞の思想や語録を伝える著作として、( ④ )が著した『歎異抄』が存在する。
- (C) (ウ)日蓮は、鎌倉や高野山などで修業をつみ、日蓮宗を開いた人物である。日蓮は、天災や疫病などの原因を、『( ⑤ )』が軽んじて扱われているからだと考え、他宗派を非難するなどした。日蓮の立場は、( ⑥ )格言という言葉に表れている。もっとも、日蓮は自身を最澄の精神を継ぐものと考えていたため、( ⑦ )宗だけは非難の対象となっていない。

問1 上の各文章(A)～(C)の ( ① ) ～ ( ⑦ ) に入る最も適切な語句あるいは人名をそれぞれ答えなさい。(各2点)

問2 下線部(ア)鎌倉新仏教と呼ばれるのは、浄土宗、浄土真宗、日蓮宗、( )宗、( )宗、( )宗の各宗派である。括弧内に入る語句をそれぞれ漢字で答えなさい。(順不同可、各1点)

問3 下線部(イ)悪人正機とは、どのような思想であるか。「善人」「悪人」「救済」という言葉を用いて、60字以内で説明しなさい。(6点)

問4 下線部(ウ)日蓮の著作を二つ答えなさい。(順不同可、各2点)

V. 次の文章を読んで問いに答えなさい。

- 1、 パーソナリティを理解するには、一般に【 ① 】論と【 ② 】論によるアプローチが用いられている。【 ① 】論のとらえ方は、パーソナリティを生物学的要因や心理的要因による特徴に基づいて、いくつかのタイプに分けて理解しようとする。代表的なものにクレッチマーの「体型と気質」やユングの「内向・外向」の理論がある。一方、【 ② 】論のとらえ方では、パーソナリティの特徴をあらわすいくつかの性格の側面を選び、個々人がその特徴をどの程度有しているのかを記述することで理解する。代表的なものにビッグファイブ理論がある。
- 2、 従来の医療では、治療や回復、生きることを絶対的価値として優先し、医者正しいという判断があれば、患者本人の意思にかかわらず、必要な医療を提供するものであった。このような医者と患者の関係は【 ③ 】と呼ばれる。しかし、今日の医療では患者の【 ④ 】権を尊重し、(A)患者が自分の人生をどう生きるのか、自分らしくどのように生活するのか、生命と生活の質に重点を置いて医療を受けるという考え方に変化してきた。終末期医療においても同様であり、自分の死のあり方を文書などで生前に意思表示を示す【 ⑤ 】により、病院での過度な延命治療を拒否して【 ⑥ 】を望む人も増えている。海外においては、(B)法律で安楽死が認められた国もあるが、様々な危惧もあり、日本では慎重な姿勢をとっている。

問1 空欄【 ① 】～【 ⑥ 】に最も当てはまる語句を記入しなさい。(各2点)

問2 下線部(A)について、何といますか。アルファベット三文字で答えなさい。(2点)

問3 下線部(B)について、安楽死を認めることへの危惧について80字以内で述べなさい。

(5点)

